

令和4年度「コミュニティ助成事業」により 幸世交流施設の備品類が充実いたしました!!



一般財団法人自治総合センターの実施による「令和4年度一般コミュニティ助成事業」助成金の採択を受け、多くの備品類を購入することができました。

なお、この助成事業は宝くじの受託事業収入が財源となっており、「宝くじの助成金」で交流施設の設備更新や備品整備がはかれたこととなります。

<助成金で購入した備品類>



AED(2台)



大型液晶テレビ・
DVD再生デッキ



デジタル印刷機



移動用音響設備一式



エアコン(事務所用)

丹波市の「自治協議会防災資機材整備事業」の補助金により、土のう袋やヘルメットなど防災・減災対策に関係した資機材も購入させていただきました。



<施設利用者のご紹介>

“へたの会”

ユニークなグループ名です。絵画が趣味の地域の方々（現在12名）が集まり、田中重雄先生のご指導を受け毎月第一月曜日に絵手紙教室を開催されています。

また、ボランティア活動も兼ねて、毎年一人暮らしの高齢者（75歳以上）の方々を対象に、年賀状や暑中見舞いを丹波市社協の依頼により作成し、独自に春と秋のお便りも送られています。（ご興味のある方は是非一緒に勉強されませんか。お問い合わせは、同会代表・兼古委久子さん ☎82-1956まで。）



「若者交流会」 新メンバー募集!!



当会は、現在8名。幸世自治振興会の協力団体として、若者の視点から地域の活性化を図ることを目的として活動に取り組んでいます。

詳しくは、
こちらから➡



コロナ感染や戦争の終息も未だ見えず、平和で穏やかな時代の到来を願うばかりです。総会等でもご指摘がありました「ホームページ」を昨年末に更新いたしました。この「幸世だより」と併せ、これからも幸世地域や各自治会のさまざまな情報を取り上げていきたいと思っております。まだまだ不完全なところも多くあります。ご意見等があれば遠慮なく事務局までお寄せ下さい。

幸世だより

2023年 ー第6号ー

＝発行＝
幸世自治振興会

＝編集＝
幸世地域づくり運営委員会
TEL/FAX(0795)82-5038
【発行日：令和5年1月】



五台山からの日の出（撮影：沼自治会長 豊嶋幸一さん）



新年のごあいさつ

幸世自治振興会 会長 田中 健治

あけましておめでとうございます。幸世地域の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和2年(2020)からのコロナ禍が終息しない中2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻等に起因する供給制約、エネルギーや食糧等の価格高騰で世界的にインフレが高まりました。こうした環境の中ではありませんでしたが、自治振興会におきましては、5月に3年振りとなる対面での通常総会を開催する事ができました。また7月の校区事業『川で遊ぼう』では5年ぶりに親子でたくさんの方に参加していただきました。しかしながら感染第7波の影響もあり、『第50回記念区民運動会』や『元気まつり』は今回も開催できませんでした。そこで、年末からのイルミネーションを、一日も早くマスクを外した顔で『笑顔があふれる幸世』になることを願い、そして、少しでも心の癒しになればと1月末まで延長し点灯することとしました。

2023年の干支は「癸卯」（みずのと・う）です。今までの努力が実を結び勢いよく成長し飛躍するような年だとされています。また別の読み方をすれば、「きぼう」です。まだまだ続くコロナ禍ではありますが、“希望”を持って新しい事業にも取り組んでいきたいと思っています。本年も尚一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、新しい年が、皆様にとって良い年となることを心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

「幸世地域づくり運営委員会」各部会の活動紹介

第一部会（人がかがやく仕組みづくり）

大きなイベントである「お昼のつどい」や「元気まつり」等は、長引くコロナ禍により本年度も中止を余儀なくされましたが、「川で遊ぼう」は5年ぶりに開催することができ、地域の子供たちがのびのびとした時間を過ごし幸世の自然を満喫しました。

また、若者交流会と北小PTAによる「イルミネーション点灯」は、今年も趣向を凝らし、12月3日午後6時に点灯式を行いました。

（令和5年1月末まで点灯）

なお、今年度の「とんど大会」の様子は、ホームページの活動報告に掲載しておりますのでご覧ください。



【川で遊ぼう】



【イルミネーション】
（広報誌「たんば」12月号表紙）



（上空よりドローン撮影）

第二部会（防災と自然・歴史を守るふるさとづくり）

今年こそはと思っていました「区民運動会」、「ソフトボール大会」、「卓球大会」は残念ながら開催できず、新企画の「さちよウォーキング」も悪天候で急遽中止となりました。

そのような中、「グラウンドゴルフ大会」、「幸世ゴルフ大会」及び「環境クリーン作戦」は予定通り行い、地域の方々の交流と地域美化に寄与することができました。

また、「救急救命講習会」も時間帯を分ける工夫をして3年ぶりに実施しました。



【グラウンドゴルフ大会】



【幸世ゴルフ大会】 優勝者：宮城賢治さん



【環境クリーン作戦】

第三部会（人や地域がつながる情報発信）

昨年度から年2回発行予定の「幸世だより」は地域づくりの各部会や各自治会長さんのご協力で、誌面の充実が図れております。

また、長らく更新できていなかった当自治振興会の「ホームページ」ですが、年度当初から会議を重ね、地区外の方にも見やすい地域情報の掲載と、誰にでも参加してもらえるように新たに投稿欄も設けて、昨年末にリニューアルオープンすることが出来ました。

（是非アクセスを!!）



リニューアルした「幸世自治振興会ホームページ」スマホからも簡単に見られます。このQRコードから



ご存じですか？ 《じちかいの史跡・文化など》

北油良自治会 会長 由良俊也

愛宕山は幸世地区南東部に横たわっており、その山上に祀られているのが愛宕大権現です。愛宕大権現とは、そもそも境界を守り、悪質な病気や患者などの侵入を退けるために祀られたものでした。それが火を防ぐ神になったのは、あらゆる災害の中でも、火災ほど防ぎにくいものはなく、また火によって魔性を防ぐことも有効と考えられたことから、境界を守る神の威力に期待したのです。

この愛宕信仰は中国の五台山を模倣したもので、京都守護の愛宕も五つの名山によって守られており、幸世の愛宕山も香良の五台山をはじめ高取山、小野寺山などの五つの山を巡らせて、本格的な規模を整えています。

現代にあっても、新郷や氷上、絹山などからの参拝が連綿と引き継がれており、毎年、当山に於いて「火よけの札」が授与されています。

「愛宕山へは月参り」と里謡にもあるように、北油良ではお当番を受けた氏子が月に一度、山頂の社殿を清掃し、神饌物を供える慣習が今も粛々と営まれています。



愛宕山よりの北油良全景



愛宕神社



愛宕神社御札

こんなことやってます！ やりました!! 《じちかい活動の紹介》

沼自治会 会長 豊嶋幸一

沼自治会では、例年は秋に運動会を行ってききましたが、コロナ禍の中、密にならない代替行事として沼から円通寺までの片道約2キロの『紅葉狩りウォーキング』を企画しました。

未就学のちびっこから米寿の方までまさに老若男女、総勢36名がそれぞれのペースで歩き、ずらりと並んだ俳句の石碑や紅葉を楽しみました。到着して間もなく氷ノ川太鼓、「鼓輝」の演奏を聞いて、集合写真を撮りました。

会場での店で食事やお土産を買って、帰路に着きました。



参加された皆さん



「ウォーキング」風景